

高度な水処理技術を核に、環境問題に取り組む 北九州市と連携してベトナムへ進出

「特殊酵素活性補助資材を活用した排水処理システム」は、従来の微生物を活用した処理では不可能とされた高濃度有機廃液処理が可能な独自の研究開発技術である。新設はもとより既存設備に追設することで、長期運用で低下した処理能力を回復・向上させる革新的技術である。JICA事業をきっかけにベトナムに進出し、北九州市と連携し国際環境事業を進めている。水路で使う半自動水門開閉機が防災用としてヒットし、ITを活用したスマート水門開閉機の製品化等、環境関連事業に積極的に取り組んでいる。

- | | | | |
|----------|-----------------------------|--------|-------|
| ● 所在地 | 福岡県北九州市小倉北区中井5丁目12-30 | ● 設立 | 2000年 |
| ● 電話/FAX | 093-571-2424 / 093-571-0856 | ● 資本金 | 300万円 |
| ● URL | http://www.jeef.co.jp | ● 従業員数 | 9人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 谷一身 | | |



需要獲得

ものづくり

高負荷作業を行っている方々の声から生まれた

同社の方針である「顧客の様々なニーズに技術力で応える」ため、必要に応じてアウトソーシングを活用し、少ない人的資源を設計・開発部門に集中させ、社員の技術スキルを向上させている。さらに、JICA事業に採択されることで会社の知名度・信用力をUPさせ、北九州市等が主催する国際会議でのプレゼンを積極的に引き受けることでトップセールスに繋げるなど、卓越した経営手腕を発揮している。



水門電動化 半自動開閉機「楽昇」

JICA事業をきっかけに技術が評価され、ベトナムに進出

ベトナムで「高濃度有機排水処理」の技術セミナー、試験機のデモをJICA支援で実施した際に、現地政府関係者から高い評価を得て、ハイフォン市と「普及・実証事業推進に関する覚書」を締結し、鮮魚卸売市場に20トン/日級の排水処理設備を建設中である。ベトナムでは急速な経済発展と都市化・工業化が進む中、北九州市が過去に経験した深刻な水質汚染が顕在化しており、同社取り組みは、ベトナムの環境課題の克服に資する我が国の技術貢献事例であり、かつ小規模事業者の先進事例となっている。



ハイフォン国際会議場で技術セミナー開催

ベトナムの大学と連携し、現地の技術普及と販路開拓を進める

同社は、ハイフォン市での取り組みから、ベトナム南部地域の需要開拓を進め、2017年にホーチミン市で国際展示会「VietWater(ベトウォーター)」のJETROブースに出展し、ベトナム国内の水処理関係者から多くの商談を獲得している。また、ホーチミン自然開発大学から強い要望で、ベトナムの環境条件にマッチした付加価値の高い同社CMシステムの共同開発事業に着手し、同大学環境学科の技術セミナーや現地メディアを通じ、ベトナム全土への技術普及と販路開拓を着実に進めている。



ホーチミン大学家畜研究所内で実証テスト